

2021年9月

独立行政法人国際協力機構（JICA）の発行するソーシャルボンドへの投資について

学校法人昭和女子大学は、独立行政法人国際協力機構（理事長：北岡伸一、以下「JICA」）が発行する、開発途上国のジェンダー平等と女性のエンパワメントを推進する事業に資金を充当する「ジェンダーボンド」（ソーシャルボンド）への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として開発途上国への国際協力を担っており、JICAによる債券の発行（JICA債）は、日本政府からSDGs（持続可能な開発目標）を達成するための具体的施策の一つにも位置付けられています。

今回のジェンダーボンドの発行により調達された資金は、OECD-DAC（経済協力開発機構開発援助委員会）のジェンダー事業分類基準（①ジェンダー平等や女性のエンパワメントを主目的とする事業、②ジェンダー平等や女性のエンパワメント推進に資するコンポーネントを組み込んでいる事業に充当される予定です（ただし、石炭火力発電事業への出融資を除きます）。

本法人は、適切なリスク管理のもと本債券の購入を通じて、ジェンダー平等と女性のエンパワメント推進（女性の活躍推進）に対する社会的責任を果たしていきたいと考えております。

本件に関するお問い合わせ先

学校法人昭和女子大学財務部 TEL：03-3411-5125